



新宿区立津久戸小学校 地域協働学校

平成 28 年 12 月 15 日

運 営 協 議 会 だ よ り

第 8 号

代表 中井 啓之 校長 八田 瑞穂

第 8 回地域協働学校運営委員会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 日 時 平成 28 年 12 月 9 日 (金) 15 時 30 分～16 時 30 分
- 場 所 津久戸小学校 会議室
- 司 会 運営委員会代表 中井 啓之

1. 中井代表挨拶

あっという間に 12 月に入り本年もあとわずかとなりました。校庭工事が始まり生徒たちの遊び場がなくなってしまっていることが気がかりです。またインフルエンザも流行ってきたようですので、生徒たちだけでなく私共も体調管理には留意しましょう。

2. 校長挨拶

校庭芝生化工事も本格化し、生徒の遊び場確保の為屋上を解放しています。また、朝元気の間なども有効に活用できたと考えております。

先日、地域協働学校 4 校連絡会が行われました。(市谷・愛日・江戸川・津久戸) 運営委員の方々と共に出席しましたが、様々意見交換ができ、また他校の取り組みなども大変参考になりました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。

以前より是非津久戸でキャリア教育を！という要望がありましたが、今年度中には実現できる見込みです。今後地域協働学校の委員の方や保護者の皆様のお力をお借りして、子ども達の未来に向けてより質の高いキャリア教育ができればと考えています。

また、笹笠地区文化・スポーツ協議会では“夢を育てるものづくり塾”と題し色々な場所を使って活動していますが、津久戸の教室も開催場所として解放していけたらと思っています。

4 月から地域協働学校として動き出しましたが、様々な方面からたくさんご協力をいただき広がりができたと思えます。来年も引き続きこれらを良い方向に進めていきたいと考えています。

3. 情報・意見交換

①学校より

- ・テレビ等でも取り上げられているが、いじめについて文科省から指導があり、新宿区でも研修会を行うなど様々な取り組みを行っています。津久戸小では生徒にアンケートを行い、また日常の生徒の様子にもアンテナを張り、大きな問題になる前に対処できるよう努めています。その中で出てきたことに対しては時間をかけて事情を聞き、学校全体で迅速・丁寧に対応するように心がけています。
- ・来年 1 月には新宿区学力定着度調査が行われる予定です。学力を上げることはもちろんですが、運動力向上も課題と捉え学校全体で取り組んでいきたいと思えます。
- ・津久戸の伝統ある図書教育がとても充実しているとのことで、香川県から視察にみえることが決まりました。

※会議上校長より地域社会における学校の現状と課題についてレポートの提出がありました

②運営委員より

【朝元気について】

- ・初めて図書室での見守りを行ったが、皆静かに真剣に読書をしていた。様々なジャンルの本がありとても充実していて素晴らしいと感じた。

【白銀見守りについて】

- ・以前より話に出ている教会関係者らしき男性については、交番の巡査が状況を把握しているようで少し安堵している、引き続き見守りを続けていきたい。

【児童館より】

- ・児童館内でも時々不適切な言動が見受けられ、その際には厳しく注意するようにしている。また気になることについては、保護者や学校とも連携を取っていきたいと考えている。

【その他】

- ・学校においては学力向上も大切であるが、人間としての在り方という側面からの教育も望まれるのではないかと。

③教育支援課より

津久戸小は本年度から地域協働学校指定校となり、校長先生が明確な目標や高い意識をもって取り組んでおられると思います。また運営委員の皆さまの意見交換が活発で情報共有もできていると感じます。それが校長先生のおっしゃる“広がり”に繋がっているのだと思います。今後も支援課としても様々お手伝いをさせていただければと思っております。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

出席者

中井啓之、川端喜美、高梨昌代、奈須野稔久、丸山勝子、大塚 香、八田瑞穂、内藤徳子（副校長）、滝上康之（主幹）、大井裕達（教務主任）、森 修二（教育支援課事務局）書記（櫻井真弓、PTA 副会長）

地域協働学校運営委員会メンバー

代 表 中井啓之（卒業生、元 PTA 会長）
副代表 川端喜美（青少年育成委員会、総務部長）
委 員 高梨昌代（スクールコーディネーター）
奈須野稔久（赤城元町前町会長）
丸山勝子（箆筒町地区民生児童委員）
林 天延（PTA 会長）
小川恭伸（元 PTA 会長）
大塚 香（東五軒町児童館・学童クラブ・地域交流館 総合館長）
松田和繁（株式会社熊谷組 CSR 推進室 CS 推進グループ長）
八田瑞穂（校長）

地域協働学校運営委員会はすべて公開です。どなたでも傍聴や見学をすることができます。